



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月23日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 壹番屋

コード番号 7630 URL <https://www.ichibanya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 葛原 守

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 林 賢治 TEL (0586) 81 - 0792

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	15,750	10.5	1,266	17.2	1,359	18.2	922	8.8
2025年2月期第1四半期	14,253	10.5	1,080	△14.1	1,149	△13.1	848	△3.8

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 721百万円 (△33.7%) 2025年2月期第1四半期 1,087百万円 (12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	5.78	—
2025年2月期第1四半期	5.32	—

(注) 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年2月期第1四半期連結結果計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第1四半期	46,214	32,044	68.2	197.55
2025年2月期	46,585	32,600	68.8	200.88

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 31,521百万円 2025年2月期 32,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	32,300	9.1	2,200	△8.5	2,300	△8.0	1,200	△22.8	7.52
通期	67,300	10.3	5,400	9.6	5,500	5.9	3,300	4.0	20.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年2月期1Q	159,630,000株	2025年2月期	159,630,000株
2026年2月期1Q	70,026株	2025年2月期	70,026株
2026年2月期1Q	159,559,974株	2025年2月期1Q	159,524,785株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、「添付資料」P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

2023年12月28日に行われた株式会社L F D J A P A Nとの企業結合において、前第1四半期連結会計期間に暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定したため、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年3月1日～5月31日）の業績は、売上高が157億50百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は12億66百万円（同17.2%増）、経常利益は13億59百万円（同18.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億22百万円（同8.8%増）となりました。

売上高は、フランチャイズ加盟店（以下、F C店という）向けの卸売価格を改定した効果や、国内子会社の事業拡大等から増収となりました。

また、利益面につきましては、米を始めとする食材の仕入価格や本部経費等のコスト増があったものの、売上高が好調に推移したこと等から各利益項目共に増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における分野別の取り組み状況は以下のとおりであります。

（国内CoCo㊦番屋）

直営店とF C店を合計したグループ全体の店舗売上高は、全店ベースでは224億9百万円（前年同期比4.0%増）となり、既存店ベースでは前年同期比3.6%増となりました。

客単価は、昨年8月に価格改定を実施したことや、定番の「手仕込さしみカツカレー」、数量限定の「ホロ肉ドカンとガーリック&ペッパーカレー」等の期間限定メニューを販売したこと等から前年同期比10.3%増となりました。

一方、客数につきましては、価格改定以降、落ち込みの大きかった配達代行の引き上げ策として、「U b e r E a t s」キャンペーンを実施するとともに、当社アンバサダーの俳優・山田裕貴さんが出演するテレビCMの全国放映や、アイドルグループ「日向坂46」とのコラボキャンペーン等、幅広い顧客層の獲得に繋がるマーケティング活動を実施したものの、前年同期比6.1%減となりました。

また、出退店の状況につきましては、不採算店舗の撤退などによる6店舗の退店があったものの、新規出店が10店舗あったことから、店舗数は前期末から4店舗増加し1,207店舗となりました。

（海外CoCo㊦番屋）

全店ベースの売上高は44億18百万円（前年同期比1.8%減）となり、為替の影響を除いた既存店ベースでは、引き続きイギリスは好調に推移したものの、台湾や中国等では前年の水準を下回り、前年同期比1.8%減となりました。

また、出退店の状況につきましては、新規出店が6店舗あったものの、中国等において不採算店舗の撤退等により5店舗の退店があったことから、店舗数は前期末から1店舗増加し217店舗となりました。

なお、5月にグアム1号店となる「G u a m D o n k i（グアムドンキ）店」をオープンいたしました。

（注）海外店舗の既存店売上高前年同期比の数値の算出にあたっては、為替の影響を除いております。

（国内子会社事業）

「旭川成吉思汗（ジンギスカン）大黒屋」では、店舗数が9店舗となり、店舗売上高は3億39百万円（前年同期比12.9%増）となりました。なお、5月には北海道札幌市に札幌2号店を出店する等ドミナント展開を進めております。

「麺屋たけ井」では、店舗数が13店舗となり、店舗売上高は2億91百万円（前年同期比40.4%増）となりました。なお、3月にはCoCo㊦番屋のF Cオーナーが奈良県1号店となる「櫃原店」をオープンいたしました。

「博多もつ鍋前田屋」では、新規出店はなかったものの、既存店舗の売上が好調に推移し、5店舗合計の店舗売上高は2億49百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

前連結会計年度末に連結子会社化した「らーめん小僧」等を展開する「株式会社K O Z O U」では、店舗数が6店舗となり、店舗売上高は70百万円となりました。

なお、当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は462億14百万円となり、前連結会計年度末比3億70百万円減少いたしました。このうち流動資産は203億76百万円となり前連結会計年度末比10億61百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が16億38百万円減少したこと等によるものであります。また固定資産は258億38百万円となり、前連結会計年度末比6億90百万円の増加となりました。これは主に建物及び構築物が3億81百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は141億70百万円となり、前連結会計年度末比1億84百万円増加いたしました。これは主に未払金が3億11百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は320億44百万円となり、前連結会計年度末比5億55百万円減少いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の68.8%から68.2%となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月4日付の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,480	13,842
売掛金	3,677	4,046
商品及び製品	886	885
仕掛品	34	53
原材料及び貯蔵品	288	326
その他	1,070	1,222
流動資産合計	21,438	20,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,915	6,297
機械装置及び運搬具（純額）	762	722
土地	5,178	5,175
リース資産（純額）	1,397	1,633
その他（純額）	891	983
有形固定資産合計	14,146	14,811
無形固定資産		
のれん	2,089	2,016
その他	2,303	2,347
無形固定資産合計	4,393	4,364
投資その他の資産		
投資有価証券	531	589
繰延税金資産	1,212	1,092
差入保証金	4,550	4,585
その他	316	397
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	6,607	6,661
固定資産合計	25,147	25,838
資産合計	46,585	46,214

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,878	3,110
1年内返済予定の長期借入金	14	13
未払金	1,929	2,241
未払法人税等	880	420
賞与引当金	485	215
株主優待引当金	235	202
その他	944	1,135
流動負債合計	7,369	7,340
固定負債		
長期借入金	65	62
リース債務	1,126	1,318
退職給付に係る負債	1,122	1,138
資産除去債務	616	625
長期預り保証金	3,410	3,420
その他	274	265
固定負債合計	6,615	6,829
負債合計	13,985	14,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503	1,503
資本剰余金	1,392	1,392
利益剰余金	27,842	27,488
自己株式	△72	△72
株主資本合計	30,665	30,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	202
為替換算調整勘定	1,159	949
退職給付に係る調整累計額	63	57
その他の包括利益累計額合計	1,386	1,209
非支配株主持分	547	523
純資産合計	32,600	32,044
負債純資産合計	46,585	46,214

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）
売上高	14,253	15,750
売上原価	7,197	7,922
売上総利益	7,055	7,828
販売費及び一般管理費	5,975	6,562
営業利益	1,080	1,266
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	54
受取家賃	219	228
その他	31	47
営業外収益合計	259	331
営業外費用		
支払利息	1	17
賃貸費用	168	174
その他	19	45
営業外費用合計	189	238
経常利益	1,149	1,359
特別利益		
店舗売却益	65	14
その他	1	2
特別利益合計	66	17
特別損失		
固定資産除却損	1	9
減損損失	—	9
その他	—	1
特別損失合計	1	21
税金等調整前四半期純利益	1,214	1,355
法人税、住民税及び事業税	237	335
法人税等調整額	115	88
法人税等合計	352	423
四半期純利益	861	931
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	848	922

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）
四半期純利益	861	931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	37
為替換算調整勘定	214	△242
退職給付に係る調整額	△0	△5
その他の包括利益合計	225	△210
四半期包括利益	1,087	721
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,050	745
非支配株主に係る四半期包括利益	37	△24

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正 会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	422百万円	1,350百万円
のれん償却額	68百万円	72百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

国内外の店舗売上高及び出店の状況

①「国内カレーハウスCoCo壺番屋売上高」（前年同期比増減率）

（単位：％）

	当第1四半期累計
全店売上高	4.0
既存店売上高	3.6
客数	△6.1
客単価	10.3

（注）店舗売上高は、直営店とF C店の売上高を合計したものであります。

②「海外国別カレーハウスCoCo壺番屋売上高」（前年同期比増減率）

（単位：％）

	当第1四半期累計
全店売上高	0.7
既存店売上高	△1.8
連結子会社計	△2.8
中国	△4.5
イギリス	11.1
台湾	△6.5
アメリカ	0.0
香港	△3.7
F C展開エリア計	△0.7
タイ	△4.7
韓国	△0.5
その他F C展開エリア計	2.1

（注）1. 連結子会社は、該当会計期間である2025年1月～3月までの実績であります。

2. その他F C展開エリアは以下の国々であります。

インド、アメリカ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナム

（※アメリカと中国は、当社連結子会社の他にF Cによる展開も行っております。）

3. 算出にあたっては、為替の影響を除き計算しております。

③「カレーハウスCoCo壺番屋既存店売上高の予想値との比較」（前年同期比増減率）

（単位：％）

		第1四半期累計
国内店舗	予想値	5.2
	実績値	3.6
	差異	△1.6
海外店舗	予想値	△0.4
	実績値	△1.8
	差異	△1.4

（注）予想値は2025年4月4日付の決算短信で公表いたしました当期の業績予想の試算にあたって設定した数値であります。

④「国内業態別出店状況」

(単位：店)

会社名	展開ブランド	新規出店数		退店数		純増店舗数		2025年5月末 店舗数	
			内、直営		内、直営		内、直営		内、直営
(株)㄀番屋	CoCo㄀番屋	10	8	6	3	4	3	1,207	117
	パスタ・デ・ココ	—	—	—	—	—	—	27	3
	その他	—	—	—	—	—	—	3	3
小 計		10	8	6	3	4	3	1,237	123
(株)大黒商事	大黒屋	1	1	—	—	1	1	9	7
(株)竹井	たけ井	2	1	—	—	2	1	13	12
(株)LFD JAPAN	前田屋	—	—	—	—	—	—	5	5
(株)KOZOU	らーめん小僧 他	—	—	1	1	△1	△1	6	6
小 計		3	2	1	1	2	1	33	30
合 計		13	10	7	4	6	4	1,270	153

- (注) 1. CoCo㄀番屋では、直営店からFC店への譲渡を2店舗実施いたしました。
2. 大黒屋では、㈱㄀番屋がフランチャイジーとして2店舗を経営しております。
3. たけ井では、CoCo㄀番屋のFCオーナーがフランチャイジーとして1店舗を経営しております。
4. 対象期間は、2025年3月～5月の実績であります。

⑤「海外国別出店状況」

(単位：店)

		新規出店数	退店数	純増店舗数	2025年5月末 店舗数
連結子会社	中 国	1	3	△2	28
	イギリス	—	—	—	2
	台 湾	2	1	1	42
	アメリカ本土	—	—	—	6
	香 港	—	—	—	9
	小 計	3	4	△1	87
F C 展 開 エ リ ア	インド	—	—	—	2
	タ イ	—	1	△1	46
	韓 国	1	—	1	37
	アメリカ本土	—	—	—	1
	ハワイ	—	—	—	4
	グアム	1	—	1	1
	シンガポール	—	—	—	3
	インドネシア	—	—	—	11
	フィリピン	1	—	1	18
	中 国	—	—	—	1
	ベトナム	—	—	—	6
小 計		3	1	2	130
合 計		6	5	1	217

- (注) 1. 対象期間は、各国・エリアとも2025年3月～5月の実績であります。
2. 海外店舗の業態は全てCoCo㄀番屋であります。